

平成27年度

# 施政方針



▲施政方針演説をする神園市長

**平成27年度枕崎市議会第2回定例会が2月27日招集され、神園征市長が平成27年度の市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。**

昨今の我が国の社会情勢を省みますと、新聞紙上に毎日のように地方創生の文字が躍っている状況です。この地方創生については、市民の皆さんの関心も高く、各自自治体ともその動向を注視しております。

本市においても、国が打ち出す諸施策を十分に活用するべく、本市の地域事情及び財政状況等を踏まえて、新年度中に地域総合戦略の策定に取り組みとともに、今後5箇年間で、当該総合戦略に掲げる様々な施策に取り組みなければなりません。

また、平成18年度にスタートした第5次総合振興計画の最終年度を迎えましたので、この総括を踏まえ平成28年度を初年度とする第6次総合振興計画の策定作業に入るとともに、さらには新過疎地域自立促進計画の策定作業も同時に進めることとなります。

このように、新年度は今後の本市の将来像を定める準備の年になります。様々な行政課題、地域課題の解決に向けて、当局、市議会、市民の皆さんの英知を結集して、これに当たりたいと考えております。

次に、環境保全対策として

トした第5次総合振興計画の最終年度を迎えましたので、この総括を踏まえ平成28年度を初年度とする第6次総合振興計画の策定作業に入るとともに、さらには新過疎地域自立促進計画の策定作業も同時に進めることとなります。

このように、新年度は今後の本市の将来像を定める準備の年になります。様々な行政課題、地域課題の解決に向けて、当局、市議会、市民の皆さんの英知を結集して、これに当たりたいと考えております。

新年度当初予算は、近年にない規模で普通建設事業費を、環境保全促進助成事業を活用し、市内の河川の環境対策に取り組んでいる市民グループと連携して小中学生による河川の水生生物調査や水質調査を行うとともに、環境フォーラムを開催し、地域環境の保全活動や環境教育の啓発に努めます。また、畜産環境対策事業として、悪臭対策に効果が期待できるふん尿土中注入機の導入に対し補助を行うなど、環境の保全とともに畜産農家の育成にも努めます。

続いて、教育施策については、いじめ防止対策推進法に基づき教育委員会事務局に枕崎市いじめ問題専門委員会を、市長部局に枕崎市いじめ問題調査委員会を設置する条例案を提出しております。この機関の設置により、本市内の小中学校においていじめの重大事態が発生した場合の備えができることとなります。また、学校現場においては、既に学

計上しました。

これは、小・中学校の屋内運動場等における非構造部材の耐震化を新年度で集中して実施するのをはじめ、公共施設の長寿命化計画に基づいた老朽化対策を進めるとともに、高度衛生管理型荷捌所の新設に伴い、枕崎市漁業協同組合が行う魚体選別・搬送ラインなどの整備に対し助成を行うことなどによるものです。

なお、これらの事業実施に当たっては、可能な限りの補助事業を導入するとともに、過疎対策事業債の有効な活用にも努めたところです。

次に、昨年来、庁内で検討を重ねておりました地域包括ケアシステム構築に向けた組織については、福祉課内に地域包括ケア推進室を設けます。

これは、介護保険制度の改正に伴う新たな介護保険事業の平成30年度完全実施に向けて、介護施設制度の改訂を伴う新たな介護保険事業を早期の対応が可能な体制を整えております。

福祉施策については、子ども・子育て支援新制度に基づく各種子ども・子育て支援事業の実施や、産婦の安心・安全なお産体制の確保を図ることを目的とした産後ケア事業に取り進むことで、子どもを産み育てやすい環境の整備にも努めます。

このほか新年度予算を編成するに当たっては、各課から様々な事業提案がなされましたが、新年度で取り組む事業としては、まだ熟度の整っていないものもありましたので、引き続き庁内で検討するよう指示をしております。計画熟度が整い次第、今後の補正予算でお願いすることもあろうかと思っておりますので御承知おきください。

さらに、現在、国、県との協議を急いでおります地方創

た取組であり、本市の地域包括ケアシステム構築に向けた主体的な調整を図っていくものです。

続いて、新年度の新規施策として枕崎国際芸術賞展について申し上げます。

本市がこれまで10回にわたって開催してきた風の芸術展については、第1回展から審査委員をお務めいただいた野見山曉治先生から、御高齢を理由に「区切りのよい10回展を最後に、審査委員を辞退したい」との御意向があり、また、同じように林紀一郎先生からも審査委員辞退の申出がなされていたところでありました。

そこで、庁内において今後の芸術展の在り方を検討した結果、風の芸術展は区切りのよい10回展までとし、発展的に枕崎の地名を冠した国際芸術賞展を目指す方向を確認いたしました。

この枕崎国際芸術賞展は平成29年度に改定する第3次行財政集中改革プランも踏まえ、効率的かつ効果的な事業の実施を目指すことはもちろんのこと、引き続き本市財政規律の保持を念頭に、本市財政の健全化にも努力したいと考えております。

※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。  
【市政・サービス】市長あいさつ↓平成27年度施政方針